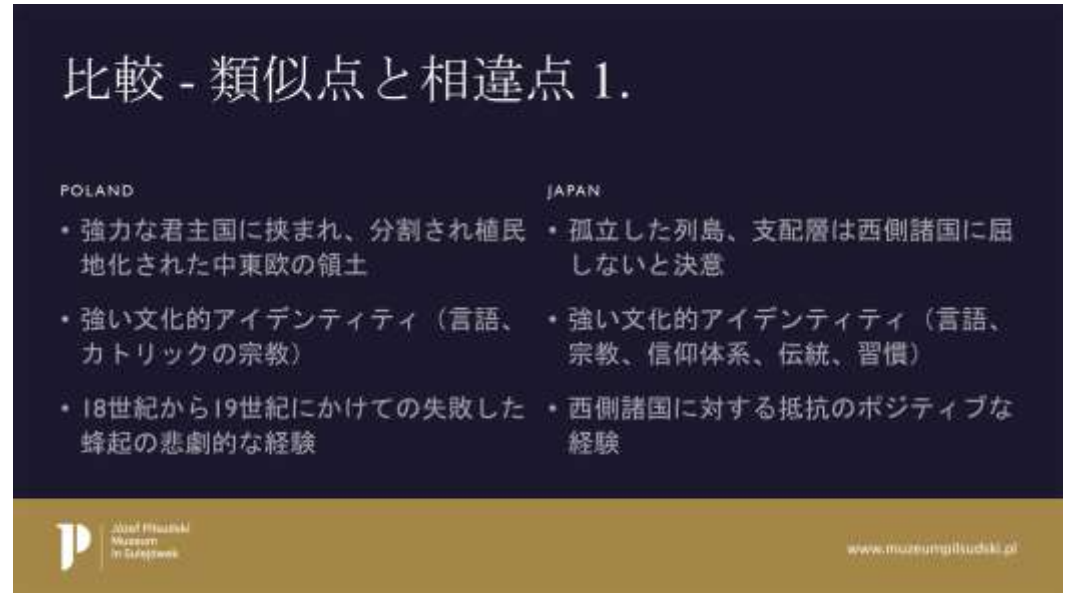




①



④



②



④



新渡戸稲蔵
教育者(1862-1933)

1919年のパリ講和会議中に
ヨーロッパで何人かのポーラ
ンド人に会った

マリア・キュリー・スクウォド
フスカ

エゼフ・ピウスツキ

ロマン・ドモフスキ

 www.muzeumpilsudski.pl

⑤





 www.muzeumpilsudski.pl

⑦

パリ ジュネーブ




(写真:ジュネーブ、パリ会議)

 www.muzeumpilsudski.pl

⑥

新渡戸はポーランド人とピウスツキについて書いた

POLAND JÓZEF PIŁSUDSKI

すでに半世紀前、学生時代の頃に、ポーランドの歴史を読んで深く憤慨し、その後かの国の愛国詩人の英訳にかかる悲歌を幾度となく繰り返して、かの亡国の為に哀哭した事があった。その後三四回程ポーランドに遊び、かの国民の愛国、及び愛国の念の深きに感激した事もある。

- ピロストスキー氏は一日しても、只人ならぬ事が分かる。如何なる群衆の中にあっても、その容貌が他人と異なった。眼光、口の締めり工合、鼻筋の鋭さ、顎の出場、襟の目にも、一種異様な印象を與て、彼の面相が長く記憶に残る。

「偉人群像」昭和6年

 www.muzeumpilsudski.pl

⑧



⑨

ポーランド版『武士道』序文より

朋（とも）有（あ）り 遠方（えんぼう）より 来（きた）る

私がポーランドに目を向ける喜びを持っている。まさにこの瞬間に、とても勇敢で騎士道的な国、私は遠くからやってくる友達を見るときのような喜びを感じます。

私は以前2度、ポレスワフ王、バトリ王、ソビェスキ王の、古い土地を訪れる機会があったが、そのたびに、タデウシュ・コシチュシュコとヘンリク・ドンブロフスキ、勇士、英雄の歴史、そして詩人のユリアン・ウルスィン・ニェムツェヴィチとアダム・ミツキェヴィチの愛国的な歌について、そのたびに私の印象は強烈だった。

新渡戸, ポーランド版『武士道』序文より

⑪

Inazo Nitobe
Bushido the Soul of Japan (Philadelphia, USA 1900)
Bushido dusza Japonii (Lwów 1904)

【有朋自远方来 - 不亦乐乎】

孔夫子

【論語】・学而（がくじ）

朋（とも）有（あ）り
遠方（えんぼう）より
来（きた）る（出典）



Is it not
a pleasure
to meet
with
friends
from afar?

Author of
Confucius



⑩

新渡戸はポーランドと日本の思想と歴史を比較した

JAPAN

- 大名と侍
- 四十七士 - 失敗した英雄
- 日本文明発祥の地・大和

POLAND

- カステラン(城主)町長, スタロスタ 市長
- バール連盟 - 失敗した英雄(1768)
- サルマティア(ポーランド貴族の伝説的な発祥地)
- 1904年とその後の1919年から1920年の文明戦争(ポーランドとロシア)

⑫

価値とメリットー いくつかの類似点

- 七つの徳名
- courage (勇) humanitarianism (仁), courtesy (礼), justice (義), reason (理), knowledge, wisdom (智) faithfulness (信) loyalty (忠)

義勇氣仁
礼誠名譽
忠義
武士道七徳

13

Józef Piłsudski (1867-1935)

計り知れないもの = 不可量物
ポーランド歴史より例

14

1765年に設立された士官候補生学校 (騎士学校) Szkoła Rycerska or Akademia Szlachecka Korpusu Kadetów



アダム・カジミェシュ・チャルトリスキ公爵

15



アダム・カジミェシュ・チャルトリスキ公爵
Adam Kazimierz Czartoryski (1734- 1823)

ポーランド・リトアニア共和国の貴族、作家、批評家、政治家。
チャルトリスキ公爵はポーランド啓蒙主義の指導的存在の一人でもあった。1768年に彼は騎士学校の校長となった。

16



「騎士学校 要理問答」
教育の原則
啓発の強さ、高い倫理観の育成
- 勇気、名誉、愛国心、無私無欲

Joel Piatnicki
Museum
in Górzynowa

www.muzeumpiatnicki.pl

17

「士官候補生が虚偽を言える状況はあるのでしょうか？美德、誠実さ、正確さは各士官候補生の特徴であるはずなので、これらはどれも存在しません。嘘をつく人は自分の卑劣な魂を表し、最も卑劣な行為をする準備ができています。」等々

「騎士学校 要理問答」より,1774

Joel Piatnicki
Museum
in Górzynowa

www.muzeumpiatnicki.pl

19

「彼にはどんな娯楽が適しているのでしょうか？賢くて、彼の素早さを開発し、決して粗暴なものではありません。また、鳥や他の動物をペットとして飼う人は、無意識のうちに残酷さを教えることになるので、決してそれらを苦しめるべきではありません。しかし、活動的で慈善的であることは、魂の最も尊敬すべき特徴です。」と

「騎士学校 要理問答」より,1774

Joel Piatnicki
Museum
in Górzynowa

www.muzeumpiatnicki.pl

18

騎士学校は1794年のコシチュシュコ蜂起敗北後、士官候補生隊は解散した。



擲弾兵
テキダグヘイ



クラクフで宣誓するタデウシュ・コシチュシュコ



農民の部隊旗「食料を供給し、保護す」

Joel Piatnicki
Museum
in Górzynowa

www.muzeumpiatnicki.pl

20

ピウスツキの家族



21

人間性の形成、教養

自由-自由のための家庭教育

ポーランド語-とポーランドの詩への愛

アイデンティティ: 私は誰か? - 国の過去の記憶

行動すること:

人々の間で、人々と共にいる

勇気を持って相手と対峙する



23

1794年、1830年、 1863年の蜂起の記憶

母

マリア・ヒレヴィッツ-偉大な愛国者

父

ユゼフ・ヴォンツェンティ・ピウスツキ、
1863年の蜂起の参加者



22

ピリニユスのピウスツキ兄弟の秘密 結社

スピイニヤ [Spójnia
= 親密なつながり] の価値観

母国語、自己教育

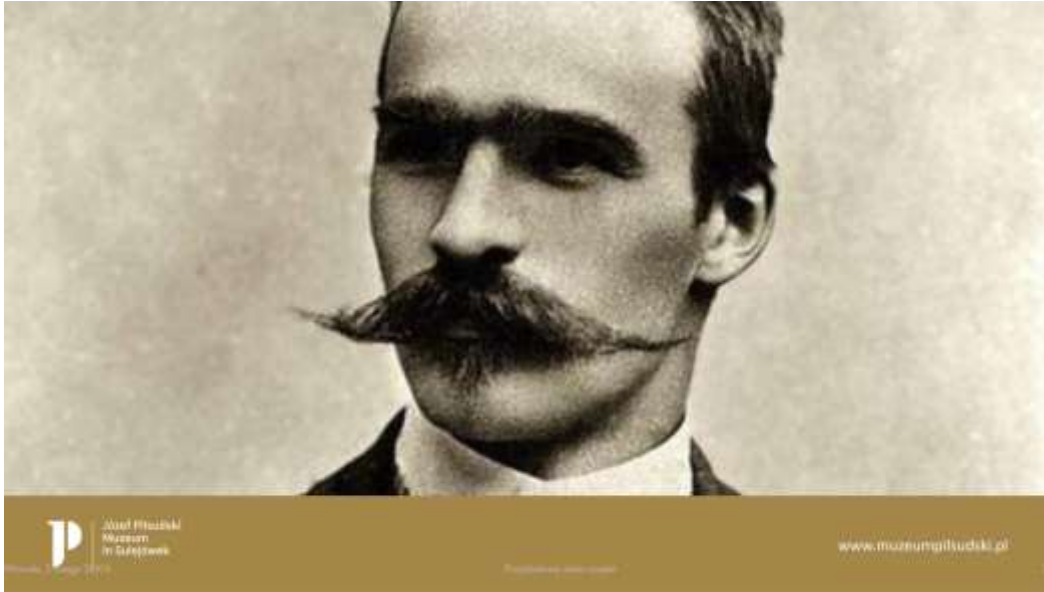
勇気

市民参加

社会主義



24



25



27



ラテン語の
IMPONDERABILIA
インボンデラビリア

【計り知れない価値】

- 行動
- 勇気
- 迅速さ、柔軟性
- 指導力 リーダーシップ
- 政治思想
- 兵士の価値観

26



日露戦争中のユゼフ・ピウスツキと テイトウス・フィリポヴィッチの「タベ」ミッ ション

- 目標: ポーランド独立に対する日本の支援
- 対話の相手 (日本の外交官、軍人)
- 銀座で政敵ロマン・ドモフスキと予期せぬ出会い

28

ユゼフ・ピウスツキは日本人の将軍を高く評価されていた




www.muzeumpilsudski.pl

29



ブロニスワ・ピウスツキの人生の使命：
 「他人の役に立つこと」


www.muzeumpilsudski.pl

31

ブロニスワ・ピウスツキ
 キ(1866-1918)

感受性


www.muzeumpilsudski.pl

30

自らの誓いに
 込めた人生の使命
 『義務 母 神』

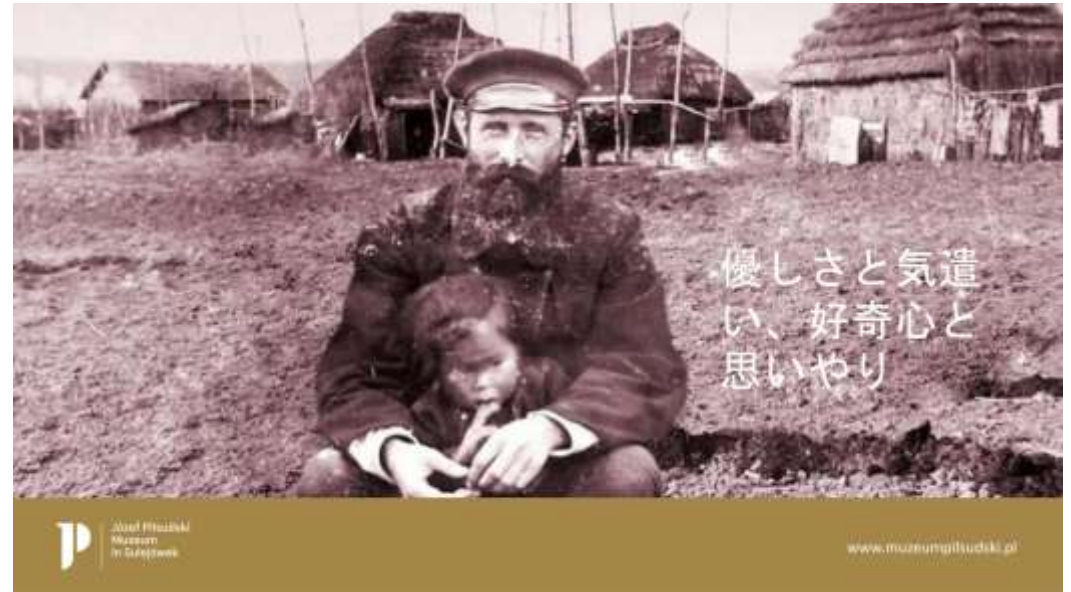



www.muzeumpilsudski.pl

32



33



35



34



36

民族の存続の条件としての言語と習慣の保存



37

銀座での函館屋での滞在した

- ブロニスワフは東京の銀座にある有名なアイスクリーム店「函館屋」の二階宿に滞在した。



39

ブロニスワフの日本への短期滞在 (1902年、1903年)と長期滞在(1905年～1906年)



38



恐らく函館屋にいるブロニスワフと日本人客の写真

40

日本人との交流

坪井 正五郎
人類学者

横山 善之助
活動家並びに記者

橋本 重
女性ピアニスト



Josef Pilsudski
Museum
in Sułkowice

www.muzeumjilsudski.pl

④

北海道白老町にあるブロンスワフ・ピウスツキの胸像

2013年10月19日、北海道白老町にて、ポーランド共和国文化・国家遺産大臣の臨席のもと、ブロンスワフ・ピウスツキ胸像の除幕式が行われ、その後、ブロンスワフ・ピウスツキと日本の関係をテーマにした2日間のセミナーが開催されました。

現在、ウゴボイ (民族共生象徴空間)



Josef Pilsudski
Museum
in Sułkowice

www.muzeumjilsudski.pl

④

二葉亭四迷との交友



Josef Pilsudski
Museum
in Sułkowice

www.muzeumjilsudski.pl

④

痕跡とインスピレーション - 計り知れない価値と感受性

ブロンスワフ、リトアニアの芸術家アドマス・ヴァルナスが1912年に描いた油絵一枚

ユゼフ - 多くの記念碑、彫像、政治遺産




スタニスワフ・オシニョウスキによる最初の大理石彫刻、オジェ・ヴァルデルマセの指導で建てられた直線彫の後の記念碑。彫刻家から提供された真鍮製の彫が1999年に公開され、ワルシャワのワグネル広場に設置されている。

Josef Pilsudski
Museum
in Sułkowice

www.muzeumjilsudski.pl

④

Poland and Japan
mutual inspiration creates our future

